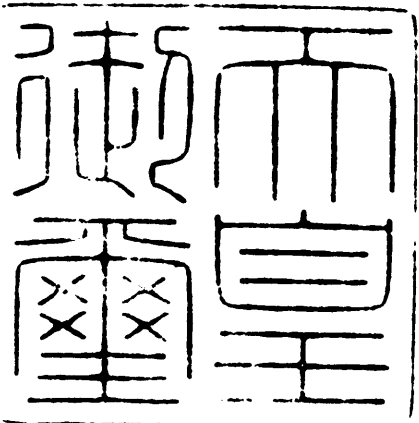


法律第一百四號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル石炭配給統
制法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

裕仁



昭和十五年四月六日

日

月

内閣總理大臣 米内光政
 大藏大臣 櫻内幸雄
 商工大臣 藤原銀次郎

法律第百四號

石炭配給統制法

第一條 石炭ノ生産業者、輸入業者及移入業者は石炭ノ取扱ヲ
 爲ス會社ニシテ主務大臣ノ指定シタルモノ（指定會社）ハ命令
 ノ定ムル事ニ依リ其ノ生産、輸入、移入又ハ取扱ニ係ル石炭ヲ
 日本石炭株式會社ニ賣渡スベシ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ
 在ラズ

一 石炭ノ生産業者、輸入業者又ハ移入業者命令ヲ以テ定ムル
 場合ヲ除クノ外其ノ生産、輸入又ハ移入ニ係ル石炭ヲ自己ノ
 用ニ供スルトキ

二 指定會社ノ社員又ハ株主タル石炭ノ生産業者其ノ生産ニ係

PP 附

ル石炭ヲ當該指定會社ニ賣渡ストキ

三 特別ノ事情アル場合ニ於テ主務大臣ノ許可ヲ受ケタルトキ

第二條 主務大臣ハ石炭ノ配給ノ圓滑ヲ確保スル爲メニ必要アリ

ト認ムルトキハ石炭ノ生産業者、輸入業者、移入業者又ハ販賣

業者ニ對シ石炭ノ配給ニ關スル施設ノ貸貸又ハ賣渡ニ付命令ノ

定ムル所ニ依リ協議ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ協議ヲ命ゼラレタル者協議ヲ爲サズ若ハ協ス

コト能ハズ又ハ協議ヲハザルトキハ主務大臣ハ當該事項ニ付必

要ナル決定ヲ爲スコトヲ得

第三條 前條第二項ノ規定ニ依ル決定アリタル場合ニ於テ貸貸料

又ハ賣渡價格ニ付不服アル者ハ其ノ決定ノ適用ヲ受ケタル日ハ

決定ノ通知ヲ受ケサル者ニ付テハ其ノ公布ノ日ヨリ三十日以

内ニ通常裁判官ニ付訴スルコトヲ得

第四條 第三條ニ定ムルモノノ外決定ニ之ニ依ル石炭ノ配給ニ

關スル施設ノ實行及費用ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ

定ム

第五條 主務大臣ハ石炭ノ生産業者、輸入業者若ハ移入業者又ハ

指定會社ニ對シ其ノ業務及財産ノ状態ニ關シ調査ヲ爲サシメ又

ハ販賣其船其ノ運ノ物件ノ検査ヲ爲スコトヲ得

第六條 日本石炭株式會社ハ石炭ノ賣渡ノ配給及價格ノ公正ヲ保

ル爲メ必要ナル事業ヲ營ムコトヲ命ズルコトヲ得

第七條 日本石炭株式會社ノ資本ハ五千圓トシ内二千五百圓

印

附

ハ政府ノ出資トス

日本石炭株式会社ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ資本ヲ增加スル

コトヲ得

第八條 日本石炭株式会社ノ株式ハ記名式トシ政府、公共團體、
帝國臣民又ハ外國法人ニシテ社員、株主若ハ監事ヲ執行スル者
員ノ半數以上、資本ノ半額以上若ハ議決權ノ總半數ガ外國人若
ハ外國人ニ屬セザルモノニ限リ之ヲ所有スルコトヲ得

總會ノ定ムル法人ニシテ時ニ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルモノハ
前項ノ規定ニ拘ラズ日本石炭株式会社ノ株主ト爲ルコトヲ得

第九條 日本石炭株式会社ニ非ザルモノハ日本石炭株式会社又ハ
之ニ類似ノ名稱ヲ以テ其ノ商標ト爲スコトヲ得ズ

第十條 日本石炭株式会社ニ役員トシテ社長、理事各一人、理事
五人以上及監事二人以上ヲ置ク

第十一條 社長ハ日本石炭株式会社代表シ其ノ業務ヲ總理ス
理事ハ前項監事放アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ社長役員ノトキ
ハ其ノ職務ヲ行フ

第十二條 社長、理事及監事ハ日本石炭株式会社ノ業務ヲ監督ス
監事ハ日本石炭株式会社ノ業務ヲ監督ス

第十三條 社長、理事及監事ハ株主會議ニ於テ之ヲ選任シ主務
大臣ノ認可ヲ受クルモノトシ其ノ任期ヲ三年トス

第十四條 監事ハ株主會議ニ於テ之ヲ選任シ其ノ任期ヲ三年トス
石炭業務ヲ監督スル官廳ノ官中タリシ者ハ其ノ職ヲ退キタル後

五年間日本石炭株式會社ノ役員ト爲ルコトヲ得ズ但シ主務大臣ニ於テ特ニ必要アリト認メタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條 社長、副社長及理事ハ他ノ職務又ハ職業ニ従事スルコトヲ得ズ但シ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十四條 日本石炭株式會社ハ左ノ事業ヲ營ムモノトス

- 一 石炭ノ買入及販賣
- 二 石炭ノ採出、輸入、移出及移入
- 三 石炭事業ニ附スル資金ノ融通及投資
- 四 前各條ノ事業ニ附帶スル事業
- 五 其ノ他石炭ノ採出ノ開採及買取ノ公正ヲ圖ル爲必要ナル事業

日本石炭株式會社第四條又ハ第五條ニ勞グル事業ヲ營マン
トスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第十五條 日本石炭株式會社ハ其會社ノ役員ヲ以テ首人ルル者ニ石炭ヲ賣渡ストキハ命令ノ形ムル由ニ依リ主務大臣ノ認可ヲ受ケ
其ノ石炭ノ賣渡ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトヲ得

主務大臣ハ石炭ノ採出ノ開採又ハ買取ノ公正ヲ圖ル爲ニ必要
アリト認ムルトキハ日本石炭株式會社ヨリ其會社ノ役員ヲ以テ石
炭ヲ買入ルル者ニ對シ該項ノ指示ニ従フベキコトヲ命令ズルコト
ヲ得

第十六條 日本石炭株式會社ハ法律第二百九十七條ノ規定ニ依ル
補償手續エテ其債權ヲ清算スルコトヲ得但シ該會社ノ債權ハ補償ミ

タル味金類ノ三倍ヲ額ユルコトヲ得ズ

此種ヲ集積スル場合ニ於テハ舊法第三百四十三條ニ定ムル決議

ニ依ルコトヲ要セズ

第十七條 日本石炭株式會社此等ヲ集積セントスル場合ニ於テハ

主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第十八條 日本石炭株式會社ノ附債權者ハ同會社ノ財産ニ付他ノ

債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ總額ヲ受クル権利ヲ有ス

第十九條 日本石炭株式會社ハ海峽南洋等ニ準備金トシテ資本ノ

増殖ヲ補フ爲利益金類ノ百分ノ八以上ヲ積立ツベシ

第二十條 主務大臣ハ日本石炭株式會社ノ業務ヲ監督ス

第二十一條 日本石炭株式會社ノ定款ノ變更、利益金ノ處分、合

併及解散ノ決議ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力
ヲ生ズ

第二十二條 日本石炭株式會社ハ毎營業年度ノ事業計畫ヲ定メ主

務大臣ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

第二十三條 日本石炭株式會社ハ命令ヲ以テ室ムル場合ヲ除クノ

外主務大臣ノ認可ヲ受ケタル價格ニ依ルニ非ザレバ石炭ノ買入

又ハ販賣ヲ爲スコトヲ得ズ

第二十四條 主務大臣ハ日本石炭株式會社ニ對シ石炭ノ供給調整

上必要ナル事業ヲ行フベキコトヲ命ジ其ノ他業務ニ關シ公益上

必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十五條 主務大臣ハ日本石炭株式會社ノ業務ニ關シ監督上必

要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十六條 主務大臣ハ日本石炭株式會社監理官ヲ置キ日本石炭株式會社ノ業務ヲ監視セシム

第二十七條 日本石炭株式會社監理官ハ何時ニテモ日本石炭株式會社ノ金庫、帳簿及諸般ノ文書物件ヲ検査スルコトヲ得

日本石炭株式會社監理官ハ必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ日本石炭株式會社ニ命ジ業務ニ關スル諸般ノ計算及狀況ヲ報告セシムルコトヲ得

日本石炭株式會社監理官ハ株主總會其ノ他諸般ノ會議ニ出席シ意見を陳述スルコトヲ得

第二十八條 主務大臣ハ日本石炭株式會社ノ決議又ハ役員ノ行爲

が法令、法令ニ基キテ爲ス處分若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ其ノ決議ヲ取消シ又ハ役員ヲ解任スルコトヲ得

第二十九條 日本石炭株式會社ハ毎營業年度ニ於ケル相當シ得ベキ利益金額が政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ四ノ割合ニ達スル迄政府ノ所有スル株式ニ對シ利益ノ相當ヲ爲スコトヲ要セズ

日本石炭株式會社ノ毎營業年度ニ於ケル相當シ得ベキ利益金額が政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ四ノ割合ヲ超過スル場合ニ於テ政府以外ノ者ノ所有スル株式ニ對シ年百分ノ四ノ割合ヲ縮工利益相當ヲ爲サントスルトキ

ハ其ノ超過スル利益金額ハ利益配當ガ株式ニ付拂込ミタル株
金額ニ付シ均一ノ割合ニ達スル迄政府以外ノ者ノ所有スル株式
ノ拂込ミタル株金額及政府ノ所有スル株式ノ拂込ミタル株金額
ニ對シ一ト三トノ割合ヲ以テ之ヲ配當スベシ

第三十條 第一條ノ規定又ハ第十五條第二項ノ規定ニ依ル命令ニ
違反シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ一萬圓以下ノ罰金ニ處ス但
シ犯罪ニ係ル石炭ノ價額ノ三倍ガ一萬圓ヲ超ユルトキハ罰金ハ
該價額ノ三倍以下トス

第三十一條 第二十三條ノ規定ニ違反シタル者ハ五千圓以下ノ罰
金ニ處ス

第三十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處

ス

一 第五條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ又ハ虚偽ノ報告ヲ爲シタ
ル者

二 第五條ノ規定ニ依ル検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者

第三十三條 營業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其
ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ第三十條、第三十一條又ハ前條
第一號ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故
ヲ以テ且ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第三十四條 第三十條、第三十一條及第三十二條第一號ノ罰則ハ
其ノ者が法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執
行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理

人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未
成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第三十五條 前二條ノ場合ニ於テハ總役ノ冊ニ屬スルコトヲ得ズ
第三十六條 日本石炭株式會社左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ社
長又ハ社長ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル副社長ヲ五千圓以下ノ滿
料ニ屬ス副社長又ハ理事ノ分營業務ニ係ルトキハ副社長又ハ理
事ヲ滿料ニ屬スルコト亦同ジ

- 一 本法ニ依リ認可ヲ受クベキ場合ニ於テ其ノ認可ヲ受ケザル
トキ
- 二 第十四條ノ規定ニ依ラズシテ業務ヲ營ミタルトキ
- 三 第十六條第一項ノ規定ニ違反シ社債ヲ募集シタルトキ

四 第二十四條又ハ第二十五條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル
トキ

第三十七條 日本石炭株式會社ノ社長、副社長又ハ理事第十三條
ノ規定ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ罰料ニ處ス

第三十八條 第九條ノ規定ニ違反シタル者ハ千圓以下ノ過料ニ處
ス

附則

第三十九條 本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第四十條 政府ハ設立委員ヲ命ジ日本石炭株式會社ノ設立ニ關ス
ル事務ヲ處理セシム

第四十一條 設立委員ハ定款ヲ作成シ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第四十二條 前條ノ認可アリタルトキハ設立委員ハ株式總數ヨリ
政府ニ相當ツベキ株式持分者シタル者ヲ選出シ株式ニ付株主ヲ募集
スベシ

第四十三條 株式申請書ニハ定款認可ノ年月日及ニ商法第百七十
五條第二項第二號及第四號乃至第七號ニ規定スル事項ヲ記載ス
ベシ

第四十四條 設立委員株主ノ募集ヲ終リタルトキハ株式申請書ヲ
主務大臣ニ提出シ其ノ検査ヲ受クベシ

第四十五條 設立委員ハ一隊ノ内在ヲ受ケタル後遅滞ナク各株ニ
付第一回ノ拂込ヲ爲サシムベシ

前項ノ拂込アリタルトキハ設立委員ハ遅滞ナク創立總會ヲ召集

スベシ

第四十六條 創立總會ニ於テハ第十二條ノ規定ニ準ジ社長、副社
長、理事及監事ノ選任ヲ行フベシ

第四十七條 創立總會終結シタルトキハ設立委員ハ其ノ事務ヲ日
本石炭株式會社社長ニ引渡スベシ

第四十八條 商法第百六十七條、第百八十一條及第百八十五條ノ
規定ハ日本石炭株式會社ノ設立ニハ之ヲ適用セズ

第四十九條 第九條ノ規定施行ノ際現ニ日本石炭株式會社又ハ之
ニ類似ノ名稱ヲ以テ商號ト爲ス會社ハ同條ノ規定施行後六月以
内ニ其ノ商號ヲ變更スルコトヲ要ス

第三十八條ノ規定ハ前項ノ期間内之ヲ前項ニ掲グル者ニ適用セ

